

(公印省略)

芸短第18-21号
令和6年12月10日

関係各大学長
関係各大学大学院研究科長
関係各機関長 } 殿

大分県立芸術文化短期大学
学長 小手川 大助

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学では、下記のとおり専任の教員を公募することといたしました。教育・研究はもとより、大学の運営に積極的に参加いただける有為な人材を求めています。

つきましては、貴学・貴機関関係者に周知いただき、適任者のご推薦または応募へのご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 所属学科 国際総合学科
- 2 職 名 准教授、講師または助教
- 3 専門分野 フランス語、フランス文学、フランス文化
- 4 主な職務内容
 - (1) 主担当科目
フランス語コミュニケーション、検定フランス語演習、フランス語学実習、ヨーロッパの文化と社会（オムニバス科目）、国際総合入門（オムニバス科目）、基礎ゼミナール、教養ゼミナール、キャリアデザイン、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
 - (2) 兼担科目
フランス語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、比較文化特論（オムニバス科目）（共通教育科目）
 - (3) 教育・研究のほか、組織運営（学内の委員会等）、社会貢献（公開講座等）に関わる諸業務
- 5 採用人員 1名
- 6 採用予定日 令和7年4月1日
- 7 応募資格
 - (1) 大学院修士課程修了もしくはそれと同等以上の教育・研究能力を有する者
 - (2) 日本の大学もしくは短期大学において2年以上の教育歴（非常勤を含む）を有する者
 - (3) フランス語学実習を含む国際交流活動の企画や運営が主導できる者
 - (4) 公立短期大学における教育・学校運営に理解を示し、これに賛同する者
 - (5) 大分市または近郊に居住可能な者

8 提出書類および資料

- (1) 履歴書（別記様式） 1 通
- (2) 最終学歴証明書（学部卒業または大学院修了証書など） 1 通
- (3) 業績書（別記様式） 1 通
業績書の概要欄に、それぞれ200字程度の概要を記入
- (4) 業績の主なもの3点（著書、論文、訳書等、コピー可） 各1部
- (5) 教育研究に対する抱負（書式自由、2,000字程度） 1 通
- (6) 応募者に関する所見を求められる方2名の氏名、所属・職位、連絡先 1 通

※注1：履歴書・業績書などの書式ファイルは、本学ホームページの教員採用のページに掲載しています。（<https://www.oita-pjc.ac.jp/daigaku/management/recruit/2412010.html>）

※注2：提出書類及び資料は、選考以外の目的で使用することはありません。また、審査終了後には、責任を持って廃棄します。なお、提出書類は、原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、宛名記入・着払い送り状または切手添付の返信用封筒を同封してください。

※注3：提出書類（1）及び（3）に関しては、本学指定の様式の項目を満たしていれば、指定様式以外の様式で作成しても構いません。

9 応募期限 令和7年1月27日（月） 必着

10 書類提出先

〒870-0833 大分県大分市上野丘東1番11号
大分県立芸術文化短期大学 学長 宛

※注：封筒の表に「国際総合学科教員応募」と朱書きし、書留で郵送のこと。

11 選考方法

※第1次選考：書類審査、第2次選考：面接（模擬授業を含む）

※面接日程 令和7年2月13日（木）または14日（金）（予定） 本学にて

※面接を行う場合、令和7年2月上旬に電話またはメールにてご連絡いたします。

※面接等にかかる旅費、宿泊費等の諸経費は、応募者の負担とします。

12 採用後の待遇

「公立大学法人大分県立芸術文化短期大学職員給与規程」、「同職員就業規則」及び「同職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程」等によります。

また、労働基準法第38条の3に定める裁量労働制を導入しています。

13 問い合わせ先

国際総合学科長 高瀬 圭子

電話 097-545-0542（代表）・097-545-4349（直通）

ファクシミリ 097-545-0543

E-mail takase@oita-pjc.ac.jp